
MICEのサステナビリティに関する 5か年計画(令和7年度～令和11年度)

仙台観光国際協会
(令和6年度作成)



議題

1. 本計画の概要

2. MICE × サステナビリティの目指すべき姿・ロードマップ

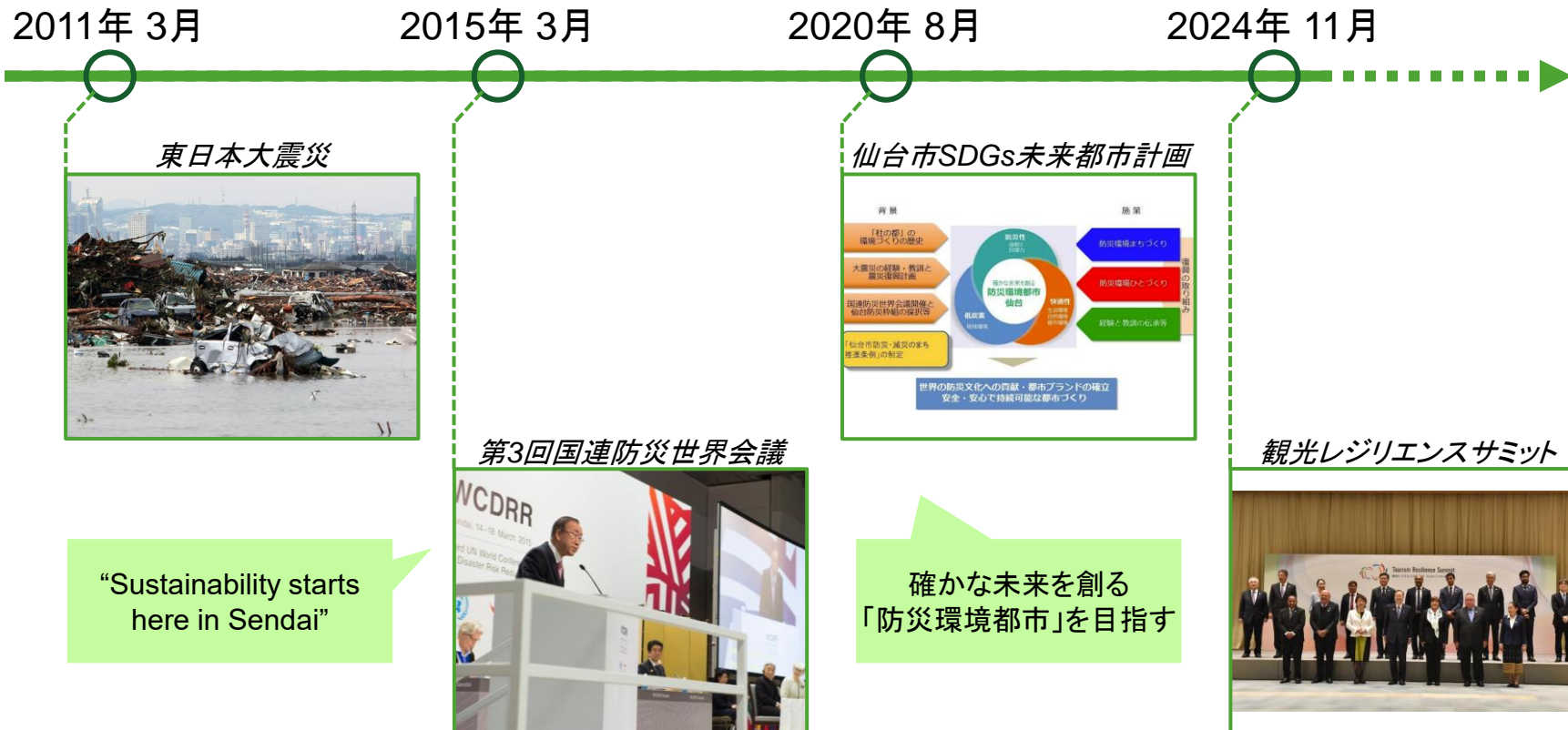
仙台市では、東日本大震災を契機に、防災意識が高まるとともに、“持続可能性”の重要性を再認識した



2015年3月14日「第3回国連防災世界会議」開会式の様子(仙台国際センター)
出所「フォトアーカイブ 東日本大震災—仙台復興のキセキ」(仙台市)

仙台市では、「防災環境都市」を強みとして会議を誘致する等、MICEにおいても「持続可能性」が重要なキーワードとなる

MICE × サステナビリティにおける防災の歴史(仙台市)



仙台市が「防災環境都市」であることを念頭に本計画も策定

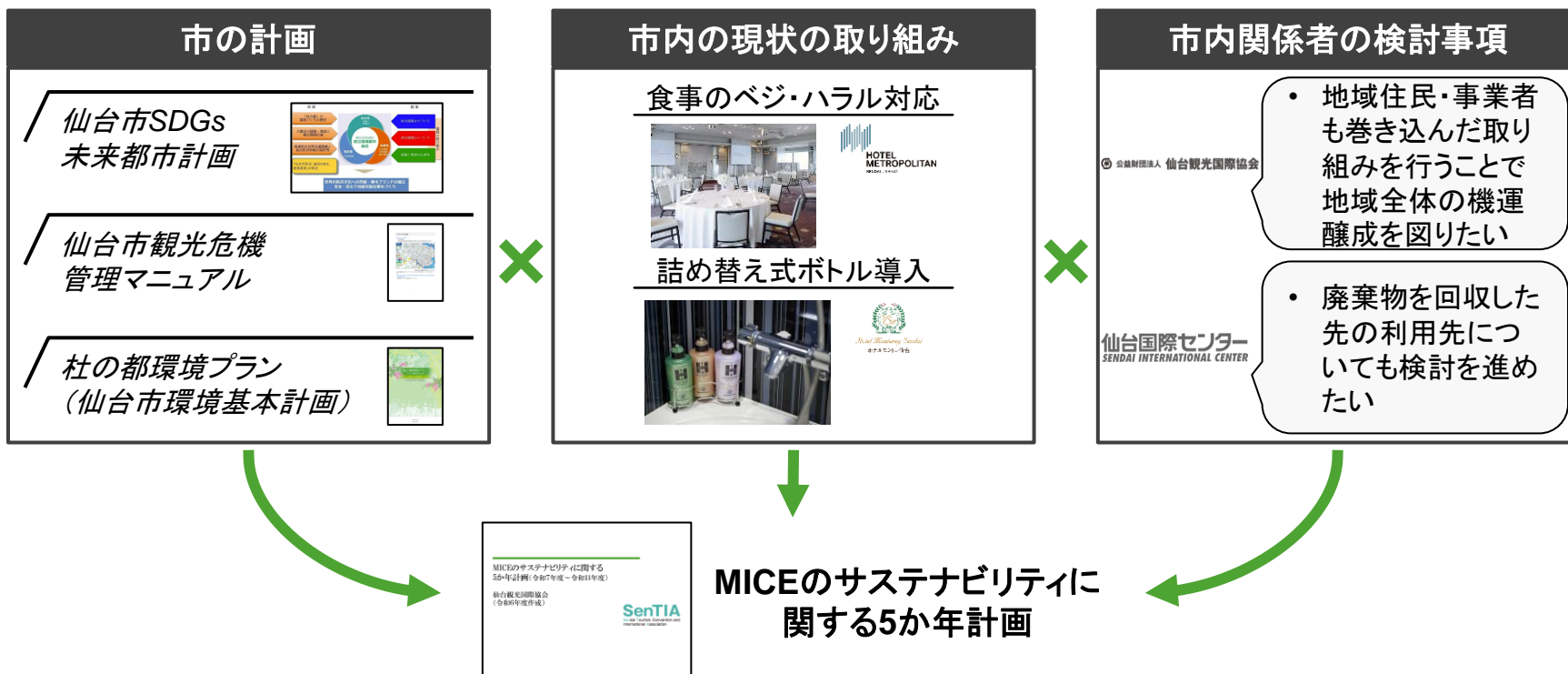
出所)「東日本大震災 100枚の記録 写真特集」(JIJI.COM)、「仙台から始まる持続可能性」創設70年を迎える国連の重要課題として国連事務総長、日本から発信」(国際連合広報センター)、「観光レジリエンスサミットが終了しました」(仙台市)

本計画は、MICEにおけるサステナ推進を目的に、市の計画や現状の取り組み、検討事項を組み合わせ策定

「MICEのサステナビリティに関する5か年計画」の策定の流れ

目的・背景

- MICEの開催時においてもサステナビリティに関する取り組みが求められている
- サステナビリティに関する市の計画は存在するが、MICE文脈での計画は存在せず、取り組み推進に向けた指針を策定すべきである



議題

1. 本計画の概要

2. MICE × サステナビリティの目指すべき姿・ロードマップ

市内のサステナビリティに関する各分野の目標や取り組みを基に、本計画の目指すべき姿を4つの領域で定めた

MICE、サステナビリティの目標・取り組みとMICE × サステナビリティの目指すべき姿

各分野の目標・取り組み状況

サステナビリティ	MICE	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議開催件数(SenTIA統計)増加を目指す 市は政府系、CBは理工学系、国際センターは医学系と分野別に誘致
	防災	<ul style="list-style-type: none"> 世界の防災文化への貢献と、快適で防災力の高い都市としてのブランド形成 仙台市観光危機管理マニュアルの策定
	省エネ	<ul style="list-style-type: none"> 夢メッセみやぎでは、照明をLED化 作並温泉旅館組合に加盟している旅館は、二重サッシによる冷暖房の利用抑制やLED化を実施
	廃棄物処理	<ul style="list-style-type: none"> 仙台国際センターでは、仙台清掃公社と連携して段ボール等を回収 仙台国際センターでは、廃棄物のリサイクルを目指す 緑彩館では、生ごみを肥料化すべく肥料を育成中



MICE × サステナビリティの目指すべき姿

杜の都 × 防災をテーマに国内有数のサステナビリティ配慮型MICEの実現

- 地域一体型MICE**
 - 復興時の市内の連携の強さを活かし、自治体・CBと市内事業者の連携を強化
- 災害に強いMICE**
 - MICE開催時に震災が発生した際は、適切な体制で避難誘導・救護・情報発信を行う
- カーボンレスMICE**
 - MICE関連施設における省エネ推進や環境負荷の少ない移動の推進
- 資源循環MICE**
 - MICE関連事業者の分別・リサイクルを推進

防災系MICE開催に向けた競争力強化に向け、地域一体で杜の都 × 防災をテーマに国内有数のサステナ配慮型MICEを実現する

MICE × サステナビリティにおける目指すべき姿

新規 : 本事業を経て新規で取り組む領域

強化 : これまでの取り組みを強化する領域

新規

復興に向け連携した
団結力を、自治体・CB、
MICE関連の市内事
業者間の連携にも活
かし、取り組みを推進
する体制を築く



① **地域一体型
MICE**

新規

MICE開催時における
観光危機管理マニ
ュアルに基づく避難誘
導・救護・情報発信等
の実践



② **災害に強い
MICE**

杜の都 × 防災環境都市として
国内有数のサステナビリティ配慮型MICEの実現

防災系MICE等の開催件数増加に繋げる

強化

MICE関連施設におけ
る省エネ推進や、環境
負荷の少ない移動の
推奨により脱炭素を目
指す



③ **カーボンレス
MICE**

強化

MICE開催時に発生し
た紙やプラスチックご
みをリサイクルし、無
駄を削減する



④ **資源循環
MICE**

各領域において2030年の目標、及び中間目標を設定 することで着実に目指すべき姿の実現を狙う

目指すべき姿の実現に向けたマイルストーン

●: 地域一体型MICE

●: 災害に強いMICE

●: カーボンレスMICE

●: 資源循環MICE

令和7年度

令和8年度

令和9年度

令和10年度

令和11年度

中間目標 ①

MICE関連事業者の
現状把握・
取り組みの基盤づくり

- MICEの市内関係者(主要メンバー)参加型の定例会・イベントを実施
- 市の実施事項・調整すべき予算の検討
- MICEにおける、災害に強い受入環境に関する方針を策定
- MICE開催時のCO₂排出量、電力消費量の把握 / 削減目標の設定
- MICE開催時の廃棄物リサイクルの種別ごとに方針を明確化

中間目標 ②

カーボンレス、資源循環等の
対応を試験的に実施し、
モデルケースを作成

- MICEの市内関係者(幅広いステークホルダー)参加型の定例会・イベントを実施
- 観光危機管理マニュアルに沿った受入環境の普及及び実践
- MICE開催時のCO₂排出量、電力消費量の削減量の把握 / 削減方法の再検討
- MICE開催時に廃棄物をリサイクルし、リサイクル可能な量を計測

2030年の目標

地域一体となった継続
的な取り組みの推進

- 市内事業者の取り組みを資料化/Web上で掲載(掲載率の向上)
- 協会が誘致に関与したMICEにおいて、マニュアルに沿った受入環境の実践率100%を達成
- MICE開催時のCO₂排出量、電力消費量を30%削減(令和8年度比)
- MICE開催時のリサイクル可能な資源に関して、定量目標を達成

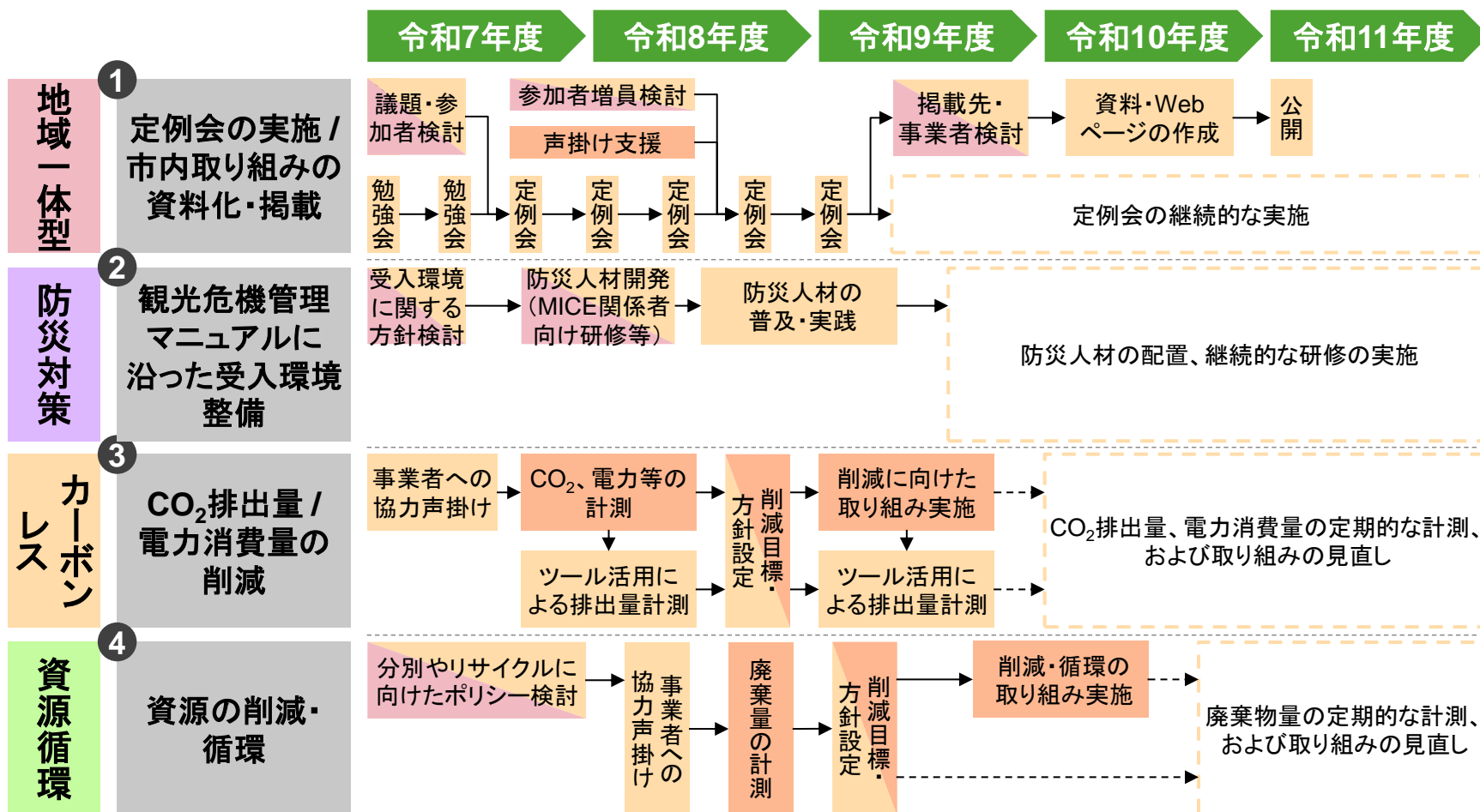
各重点領域における目標・マイルストーンに従い、市・協会、市内事業者が連携して取り組みを推進

都市のサステナ推進に向けたロードマップ

自治体

CB・協会

市内事業者



Thank you
